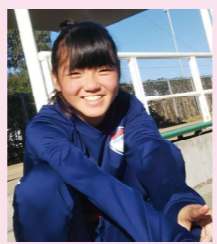


TSUKUBA FC ACADEMY PICK UP PLAYER



U-18 増田 悠人 Masuda Yuto

- ①高校2年生
- ②ミッドフィルダー
- ③スルーパス
- ④スティープン・ジェラード
- ⑤好きな女性芸能人は？
「浜辺美波」
- ⑥今後に期待をお願いします。



LY 丸山 裕愛 Maruyama Yume

- ①中学1年生
- ②ディフェンダー・ミッドフィルダー
- ③動きながらのトラップ
- ④鮫島彩
- ⑤好きな芸能人は？
「Little Glee Monster」
- ⑥今年は試合に出る機会が多くなると思うのでがんばりたいです！



U-14 小野寺 脩太 Onodera Shuta

- ①中学2年生
- ②ミッドフィルダー
- ③スルーパス
- ④モドリッチ
- ⑤渾身のダジャレを！
「カンテはアカンテ」
- ⑥ピッコロになります。



U-13 国谷 康太 Kuniya Kota

- ①中学1年生
- ②フォワード
- ③クロスからのシュート
- ④クリスティアーノ・ロナウド
- ⑤自分を一言で表すと？
「絶対的エース」
- ⑥IFA3部に昇格します！

つくばFC トップチーム情報

つくばFCレディース

プレナスチャレンジリーグ残留決定！

2018年12月9、15日にプレナスチャレンジリーグ入れ替え戦、群馬FCホワイトスター戦を戦いました。9日の試合はアウェイで0-2と敗れ、後がない状況での第2戦となりました。90分間で2得点。同点に追いつき、延長戦でも決着がつかずPK戦へともつれ込みました。お互いに2人目まで成功、3人目につくばFCのみが成功しリードを奪うと、それ以降相手に成功を許さず勝利しました。

今年は、5シーズン目のチャレンジリーグ参戦となります。チャレンジリーグ上位入賞を目指し、今年も戦っていきます。スタッフは以下の通りです。

監督：小山勇気
コーチ：土屋駿
GKコーチ：野々山理玖

トレーナー：原口瞳
トレーナー：三ツ橋利彰

ジョイフル本田つくばFC

2019シーズン始動！

2019シーズン“地獄の関東リーグ”と称される、関東1部リーグを戦うジョイフル本田つくばFCが活動を開始いたしました。昨シーズンは7位と悔しい思いをしたチームがリベンジを誓い戦います。

監督：小松祐己
コーチ：小山勇気
GKコーチ：古川淳一郎
コンディショニングコーチ：小野 響也



応援よろしくをお願いします

つくばFCの育成出身選手が活躍しています！ vol.3

No.1 JY5 期生 瀧澤修平選手水戸ホーリーホックへ移籍

FC琉球に所属していた、ジュニアユース5期生の瀧澤修平選手の水戸ホーリーホック移籍が発表されました。2018シーズンはJ3リーグに32試合出場し、FC琉球のJ3優勝に貢献しました。新シーズンは茨城県の水戸ホーリーホックに移籍となります。地元茨城でのプレーに期待です！

No.2 JY8 期生 長谷川慎悟選手レイジェンド滋賀FCへ移籍

ジョイフル本田つくばFCに所属していた長谷川慎悟選手が関西1部リーグのレイジェンド滋賀FCへ移籍しました。4年間ジョイフル本田つくばFCでアカデミー選手としてプレーしました。つくばFC出身者として新天地での活躍に期待です。

いばらき応援マスコット
LINE んだボーイ
ラインスタンプ販売中！

全24種類

いばらき応援マスコット んだボーイ 検索



ASSIST

つくばFC会報誌—アシスト—

1
JANUARY 2019
vol.35

Y つくばFCユース

岐阜遠征 オリベ杯U-18 D杯優勝！



ユースチームは12月26日～28日に岐阜遠征を行い、オリベ杯U18 D杯に参加しました。

オリベ杯の2部に相当するD杯は12チームが参加し、上位3チームが昇格となります。

1日目の予選リーグは3チームの総当たり戦でした。初戦は、相手を押し込み続け、決定機を生かし8得点の快勝！2日目の決勝トーナメントへの進出が決定しました。しかし、2試合目では、中央をテポよくパスをつないで突破してくる相手に対応できず、1-8の大敗となってしまいました。冬のKCYリーグまで戦ってきたフォーメーションとは異なる形でチャレンジしたため、誰がどのようにプレッシャーをかけて奪うのが曖昧のまま試合が終わってしまいました。

2日目はフォーメーションを戦い慣れている3バックに変更しました。1回戦の碧南工業戦は、土のグラウンドが凍った状態であったため、ボールをつなぐのは難しいコンディションでした。ボールをできるだけ早く前に送り込み、セカンドボールを拾うことに注力するよう心が

けて試合を進めました。結果はPKの得点でなんとか勝利。これまでほとんど実行したことのないチーム戦術でしたが、こういった戦い方もあるということが経験できたことはよかったと思います。

そして準決勝は前日に大敗した富士宮北高校との再戦となりました。リベンジに燃える選手たちのモチベーションは高く、パフォーマンスは見違えるほど良くなりました。ミドルシュートを決められて先制されましたが、セットプレーから堀江のゴールで追いつき、後半には山本がカウンターから逆転ゴールを奪い、2-1でリベンジに成功しました！

この日3試合目となった決勝戦では、後半の立ち上がり君嶋から先制点を挙げ、試合終盤に左サイドを崩した君嶋からのクロスで米山が決め2-0で勝利！見事D杯の優勝と来年のオリベ杯への昇格を決めました！

土のグラウンドで結果を残すことができたのは、来年の県リーグに向け自信をつけることができたと思います。

来年のユースチームの活躍にご期待ください！

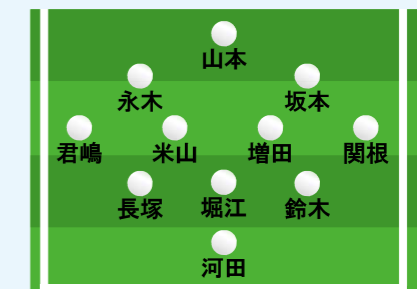
— 岐阜遠征 試合結果 —

12月27日 D杯予選リーグ 第1節
○8-0 vs 二階堂高校
GOAL 山本×3、増田、鈴木、君嶋、堀江、長塚

12月27日 D杯予選リーグ 第2節
●1-8 vs 富士宮北高校
GOAL 山本

12月28日 D杯決勝トーナメント1回戦
○1-0 vs 碧南工業高校
GOAL 坂本

12月28日 D杯決勝トーナメント準決勝
○2-1 vs 富士宮北高校
GOAL 堀江、山本



12月28日 D杯決勝トーナメント決勝戦
○2-0 vs 阿久比高校
GOAL 君嶋、米山



KCYリーグは逆転負けで1回戦敗退

12月8日(土)にKCYリーグノックアウトステージ1回戦が行われました。今年初めてのトーナメント戦ということもあり、非常に楽しみな一戦でしたが、残念ながら1-3で一回戦敗退となってしまいました。

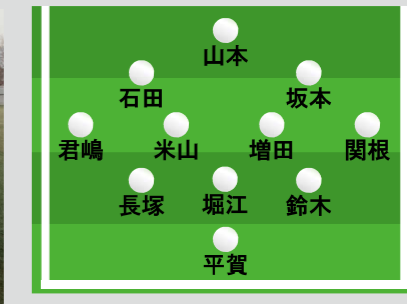
ゴールキーパーから丁寧にボールを繋ぐ相手に対し、効果的なプレッシャーからのショートカウンターで多くのチャンスを作ることができました。コーナー付近のフリーキックから鈴木が押し込み、先制に成功し、1-0で前半を折り返しました。

しかし、後半の立ち上がりミスから同点に追いつかれてしまいました。中盤を

經由せず、フォワードを起点とした攻撃に切り替えた相手に対応できず、3失点。非常に悔しい逆転負けとなりました。



12月8日 KCYリーグノックアウトステージ1回戦
●1-3 vs 大森FC
GOAL 鈴木



LY つくばFCジュニアユース

U-14 TEAM U14 選手権7位で終了

昨年11月から最学年になり福本体制をスタートさせたU14は昨年末にU14選手権ベスト4を決める試合に敗れてしまいました。

そして迎えた2019年、中学サッカー最後の年です。IFA1部リーグ優勝、クラブユース選手権関東大会出場、高円杯関東大会出場など大きな目標を抱えた2019年は波崎でのsuper copa、関東



交流大会と年始から多くの試合をこなし充実した時間を過ごせたと思います。その中で、昨年から取り組んできたビルドアップの部分は大きく改善されてきたと感じます。ボールを保持し、試合を進める展開も多くなりました。しかしゴール前のフィニッシュの部分に課題が出て、なかなか得点を奪えず逆にビルドアップのちょっとしたミスから失点してしまい敗戦する試合も多くありました。ここから課題のゴール前の局面を改善し良い形でリーグ戦開幕を迎えられるように、これからの練習や

試合に取り組んでいきたいです。ただ年始のsuper copa、関東交流大会でボールを保持し、試合を優位に進められる感覚を選手自身が得られたのは大きな収穫になったと思います。選手達も少しずつ成長している感覚を持っていると思います。ただ目標を達成するにはまだまだ足りない部分があると思うので、更なる成長を目指してこれからの日々を過ごしていって欲しいです。

super copa

- 1月 4日 Aチーム
 - 1-0 vs スポルト八千代
 - 3-4 vs クマガヤB
- 1月 4日 Bチーム
 - 1-5 vs リベレオ
 - 0-1 vs GAFC
- 1月 5日 Aチーム
 - 2-3 vs AZUL
 - 3-1 vs 日立SCJY
- 1月 5日 Bチーム
 - 2-1 vs Eins
 - 1-3 vs ENJOY
- 1月 6日 Aチーム
 - 0-1 vs アンビシオーネ
 - △ 1-1 vs ラルクヴェール
 - 24チーム中14位
- 1月 6日 Bチーム
 - 0-3 vs FC府中A
 - △ 1-1 vs ENJOY
 - 24チーム中20位

- 1月 12日 関東交流大会予選リーグ
 - 0-1 vs アイデア真岡
- 1月 13日 関東交流大会予選リーグ
 - 2-1 vs FCオリベ多治見
 - 2-1 vs BANFF横浜
- 1月 13日 関東交流大会フレンドリー
 - △ 1-1 vs アイデア真岡
 - 1-3 vs BANFF横浜
 - 0-5 vs FCオリベ多治見
 - 1-0 vs FC VIENTAS

- 1月 4日 INAGORI CUP 1日目
 - 1-3 vs ヴェルディ小山
 - 1-2 vs スエルテ
 - 2-3 vs 横浜栄FC
- 1月 5日 INAGORI CUP 2日目
 - 1-3 vs 和光ユナイテッド
 - 1-3 vs 湘南
 - 2-1 vs グランデ
- GOAL 小池、千葉、村山、酒巻
- 1月 6日 INAGORI CUP 3日目
 - 0-3 vs 横浜栄
 - 3-0 vs ACアズーリ
 - 1-4 vs ドラゴンズ
- GOAL 村山×2、千葉、小池、

- 1月 13日 Training Match
 - 11-0 vs FC VIALA

発揮出来るような試合運びが出来るようになると思います。ただシステムについて話し合うだけでは実戦に役立つ訳ではありません。それぞれのメリット、デメリットをチーム全体で共有しメリットを発揮するため、デメリットを出さないようにするために何をしなければいけないかを考える必要があります。また試合は11人で行うわけではなく相手11人との計22人と行うものです。相手のシステムや攻撃の仕方、守備の守り方によっても自分達のメリットを出しやすさやそれともデメリットが出やすさや変わってきます。試合をする中で相手を観察しメリットデメリットが出しやすい、出やすい所がどこなのか考え自分達の長所を

- 1月 20日 U14選手権順位決定トーナメント
 - 4-5 vs 日立SCJY
- GOAL 菊池×3、古木
- 1月 26日 U14選手権7位決定戦
 - 2-1 vs 境トリス
- GOAL 倉谷×3、桜井

U-13 TEAM INAGORI CUPで2019年始動!



U13は年初めを1月4日～6日のINAGORI CUPからスタートさせました。グループリーグ3試合、順位決定トーナメント3試合、計6試合を3日間に分けて戦います。順位は16チーム中15位という結果でしたがグループステージ、3試合はチャンスも多くありもう少しで勝てそうな試合展開でしたがチャンスを決めることが出来ず逆に相手のチャンスを防ぐことが出来ず敗れてしまいました。試合と試合の間にはポジション別のグループに別れ普段よく使うシステム4-4-2と3-1-4-2のメリットデメリットについて話し合い選手それぞれが意見を出し合い活発な議論になっ

たと思います。ただシステムについて話し合うだけでは実戦に役立つ訳ではありません。それぞれのメリット、デメリットをチーム全体で共有しメリットを発揮するため、デメリットを出さないようにするために何をしなければいけないかを考える必要があります。また試合は11人で行うわけではなく相手11人との計22人と行うものです。相手のシステムや攻撃の仕方、守備の守り方によっても自分達のメリットを出しやすさやそれともデメリットが出やすさや変わってきます。試合をする中で相手を観察しメリットデメリットが出しやすい、出やすい所がどこなのか考え自分達の長所を

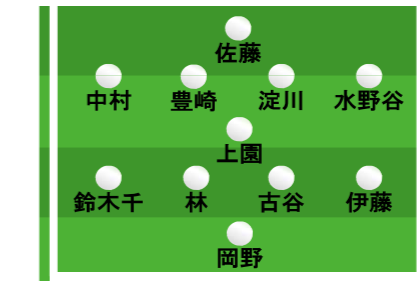
LY つくばFCレディースユース

2018年度リーグ戦全日程終了!

- U-18 関東プリンセスリーグ
 - 2勝11敗 13位
- U-18 茨城県リーグ1部
 - 6敗1分 6位
- U-14 茨城県U14リーグ
 - 3勝2敗1分 4位
- 11月 23日 茨城県リーグ1部 第7節
 - 0-1 vs 鹿島学園高校
- 11月 24日 関東プリンセスリーグ 第12節
 - 0-9 vs ノジマステラ神奈川相模原ドゥエエ



- 12月 22日 関東プリンセスリーグ 第13節
 - 0-7 vs 横須賀シーガルズ



いわきガールズフットボールフェスティバル

- 12月 23日 予選リーグ 第1節
 - △ 1-1 vs エストレーラ相馬
- 12月 23日 予選リーグ 第2節
 - 1-6 vs マイナビカレッジレディースジュニアユース

茨城県女子U14リーグ

- 12月 16日 茨城県U14リーグ 第5節
 - △ 1-1 vs 東小沢FCバンビーナ
- GOAL 和田
- 1月 13日 茨城県U14リーグ 第7節
 - 0-1 vs KASHIMA-LSC



- 1月 14日 茨城県U14リーグ 第2節
 - 0-1 vs Pretty 310 Liebe

U14リーグは4位で終了しました。ラスト3試合で勝ち点1という結果になりました。天王山となったKASHIMA-LSC戦では、前線からプレッシャーをかけてくる相手に対し、ボールを動かしながら前に運ぶチャレンジをしました。成功したり失敗したりとまだまだ成長が必要な展開でした。失点は守備が緩んだ一瞬の隙を突かれ、サッカーの厳しさを学ぶいいゲームにはなったと思います。

- 12月 24日 2位リーグ 第1節
 - 0-3 vs いわきFCガールズU15
- 12月 24日 2位リーグ 第2節
 - 3-0 vs 河内SCジュベニール

G つくばFCガールズ

Yリーグ全日程終了!



2018年度のYリーグ、全日程を終了しました。4月の開幕節から比較すると、どの選手もピッチ上でできることが増え、逞しくなりました。内容としては、選手たちの成長を感じることのできた10ヶ月だったと思います。一方で結果に目を向けると、上位チーム相手にはほとんど得点を奪えなかったことが分かります。最後のゴール前でのパス・コントロールの精度や、相手DFを1人剥がしてシュートを決める、といった部分が足りなかったのかもしれませんが、リーグ終盤は上位チームとの対戦だったため、敗戦が続きました。しかしそういった試合だからこそ、学べる機会がありました。上手いかわからないことが多い中でストレスが溜まった選手もいるかと思いますが、その中で得た数少ない成功体験が、のちに生きてくることを期待します。結果だけに一喜一憂することなく、自分自身にベクトルを向け、これからも真摯に取り組んでいきたいです。

・最終成績
8勝9敗2分、勝ち点26 14チーム中6位
(優勝:久米SSS、準優勝:ひたちなかガールズFC、第3位:古河なでしこFC)

Sc つくばFCスクール

Jチャレンジキャンプ2018に行ってきました!



土屋コーチコメント
『今回の合宿ではアシスタントコーチという立場で、U-10,U-12両方を見る機会をいただきました。それぞれオンザピッチではチーム、または個人の課題の改善に向けて真摯に取り組んでいたように感じました。その中でU-12ではチームとして戦いながら、1つ1つのプレーの精度を追及できるか、U-10では個人個人がチームの一員として責任を持ってプレー出来るかに焦点が置かれていました。その上で、U-10,U-12を共通して課題と感じたのは試合への準備の部分でした。U-10では、特にオフザピッチの食事の場面が印象的でした。1日30分×4試合という厳しい日程でゲームを戦う中で、朝昼夜の3食を質・量ともに十分にとれていた選手が全員ではなかったように見えていました。U-12では、試合への準備の部分で改善の余地があるのではないかと見えてきました。試合前の全体でのアップ、前後半の間の個人でのアップどちらを見てもチームの全員がゲームに向かって戦う姿勢が万全であったとは言えないような場面も見られました。「試合前から試合は始まっている」スポーツの世界ではよく言われる言葉ですが、試合に向けての準備がいかに重要か自分自身も指導者として改めて考え直す貴重な機会となりました。これからの子ども達の成長を期待しつつ、自分自身も子ども達と関わる中で、の気付きを増やし、まだまだ成長していきたいです!!